

『第 47 回奈良県中和病診連携の会』 実施報告

日 時：2023 年 7 月 29 日(土) 14：30～17：00

配信場所：大和高田市立病院 放射線治療棟 大会議室

参加者数：60 名（院内：25 名）

内容

今年度、初回となる奈良県中和病診連携の会が開催されました。

今回は中谷診療所、中谷真士先生の開会の辞で始まり、一般講演として最初に当院循環器内科部長の中井健仁先生より「当院の心臓カテーテル手術について」ご講演頂きました。当院へ着任後より精力的に心臓カテーテル治療に関わり実際の症例をもとに詳細を説明されました。地域からの紹介もあり救急体制の整備についても示唆されていました。



次に当院循環器内科医長、中野知哉先生より「当院ハートチームによる心不全再入院予防の取り組み」について講演がありました。心不全患者さんの背景として、老老介護や独居の方が多いため心不全増悪因子をお示しになりました。そして当院において、多職種で患者さんに関わる事により心不全増悪での再入院率は低下しつつあるとのことでした。最後に当院薬剤部、涌田泰行先生より「心不全パンデミックに向けた薬剤師ができる多職種連携とは？」についてご講演いただきました。病院薬剤師が地域の薬剤師と連携する薬薬連携についての実際を話されました。外来受診までのフォローとして、地域の薬剤師へテレフォンプォローを依頼し情報提供してもらうような取り組みを行っているとのことでした。協力していただける調剤薬局は多くはないとのことですが素晴らしい取り組みであり今後の連携に期待したいと思います。



最後に特別講演として聖隷浜松病院、循環器内科医長の齋藤秀輝先生に「心不全 Stage を意識して地域で支える心不全パンデミック～集まれ心不全サポーター～」というテーマでお話いただきました。心不全の治療薬の説明では CKD の患者も増加傾向で使用できない治療薬もあり、成功体験だけではなく、失敗も含めた、取り組みの中で市民のニーズを知り学びとなった事などを話されました。その中で、自宅に帰るとい選択肢を安易に切り捨ててはいけないと言われ、日頃より退院支援に携わっているものとして心に留めておくべき一言であると感しました。